
柏の葉キャンパスエリアに、子どもによる子どものための街と市場が出現

ぼくらでつくるピノキオシティ&マルシェ「ピノキオプロジェクト2009」が始動

～ 今年も運営方式を一新！ 子どもたちが自ら街をデザインし建設、サービス提供や当日運営まで担う ～

三井不動産レジデンシャル株式会社や柏の葉アーバンデザインセンターなどで組織するピノキオプロジェクト2009 実行委員会は、子どもたちがピノキオに扮してワークショップや職業体験を行う「ピノキオプロジェクト」を2009年も開催します。今回は、地元の子どもたちが理想の街（ピノキオシティ）を企画・建設し、市場（ピノキオマルシェ）を開設します。約1ヵ月半の期間をかけて子どもたちが創り上げるピノキオシティ&マルシェは、2009年10月11日～12日に期間限定でオープンし、当日は一般参加の子どもたちもシティで遊び、マルシェで販売員などの職業体験を楽しむことができます。

ピノキオプロジェクトは、「子どもは街で育てよう！」をコンセプトに、将来の街の担い手となる地域の子どもたちを実社会の中で育てていくイベントです。2007年より過去2回実施しており、2008年度には子どもの参加者は1,000名超、来場者数は約5,000名と規模も拡大し、キッズデザイン賞金賞やグッドデザイン賞を受賞するなど、高い評価を得ています。

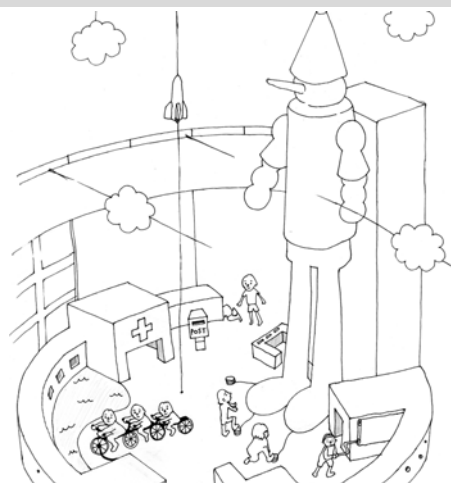
「ピノキオプロジェクト2009」 ピノキオシティ&マルシェの内容

《ピノキオシティ》

- 子どもたちが理想の街を考え、「ららぽーと柏の葉」館内にダンボールを主材料として建設します。来場者を楽しませる遊具や様々な仕掛けも企画・制作していきます。
- 子どもたちの企画会議には、ピノキオプロジェクト提唱者のエドアルド・マラジジ氏（イタリア人アーティスト）もインターネット回線を通じて参加します。
- 地元の高校生・大学生、大人たちは、ピノキオサポートチームを結成し、子どもたちの夢の実現に向けた手助けを行います。

《ピノキオマルシェ》

- 柏の葉アーバンデザインセンターで毎月行われている地域の定期市「マルシェコロール」の中で、子どもたちのための特別市場を開設。
- カフェ、本屋、花屋、写真屋など、子どもたちが憧れるお店が並び、買い物はもちろん、お店で販売員などの職業体験ができます。
- カフェで提供するメニューやレシピも子どもたちが開発します。
- お店で働いた子どもには、ピノキオマルシェ内で利用できる仮想通貨「Pi」が支給されます。



ピノキオシティのイメージイラスト



2008年度の開催風景

「ピノキオプロジェクト2009」 進行スケジュール (ピノキオシティ&マルシェ開設までの道のり)

地元の小学生が約20名集まり、リーディングメンバーとしてピノキオプロジェクトのアイデア会議を行っていきます。会議には、ピノキオプロジェクトの提唱者であるエドアルド・マラジジ氏や、地元の高校・大学生などの大人たちも参加し、子どものアイデア実現に向けた手助けを行います。(マラジジ氏はインターネット回線を利用したテレビ電話システムにて会議に参加)

- 8月24日 【第1回アイデア会議】
子どもたちが理想の街のコンセプトや、街で提供するサービス内容のアイデアを出し合い、イメージをスケッチに落とし込みました。
- 9月12日 【第2回アイデア会議】
第1回で集まったアイデアの実現化に向けて、グループに分かれて議論し、模型を作って街の景観イメージを考えました。
- 9月27日 【第3回アイデア会議】
ダンボールによる街の建設に向けて、実際の建築家と打ち合わせを行い、強度や安全性を考えて、街の仮組みを行います。
- 10月8日～10日 【ピノキオシティ建設】
リーディングメンバーが、友達や家族、地域の企業・団体に働きかけ、必要な資材や人材(建設スタッフ)を集め、ピノキオシティを建設します。
- 10月11日～12日 【ピノキオシティ&マルシェの一般公開】
シティでは、街の運営を子どもたちが行い、来街者にサービスを提供します。マルシェでは、当日参加の子どもたちがお店で職業体験を行います

*子どもたちは必要に応じて上記日程外にも自主的に集まり議論を重ね、理想の街の実現に向けて、街中を走り回ります。



写真上・中はアイデア会議の風景
写真下はシティ建設のイメージ

ピノキオシティ&マルシェ 一般公開 実施概要

《ピノキオシティ》

子どもたちが創った理想の街。治安を守り、サービスを提供するのもピノキオメンバーの子どもたち。このピノキオシティでは、多彩な遊びが体験できます。

- 【会場】 ららぽーと柏の葉2階「クリスタルコート」
- 【日時】 10月11日(日)・12日(月・祝)
11:00～17:00
(12日は15時から解体イベントを実施)
- 【参加方法】 申込不要、参加無料
- 【対象】 幼児・小学生(幼児は保護者同伴)

《ピノキオマルシェ》

地元野菜や惣菜、スイーツなど多彩な出店が特設市場になれば、買い物や食事ができます。子どもたちは、市場のお店で販売員や調理師などの職業体験ができます。

- 【会場】 柏の葉アーバンデザインセンター [UDCK]
- 【日程】 10月11日(日)・12日(月・祝)
11:00～17:00 (受付は10:30～14:30)
- 【参加方法】 入場・買い物は自由
職業体験は当日会場にて受付(先着順)
参加料300円、仕事後300円相当のPiを支給
- 【対象】 入場・買い物は対象制限なし
職業体験は小学生のみ

- 主催：ピノキオプロジェクト2009実行委員会 (三井不動産レジデンシャル株式会社、柏の葉アーバンデザインセンター、特定非営利活動法人NPO支援センターちば、株式会社読売広告社、スパイラル/株式会社ワコールアートセンター)
- 後援：柏市、柏市教育委員会
- 協力：三井不動産株式会社、三井ショッピングパークららぽーと柏の葉、首都圏新都市鉄道株式会社、柏商工会議所、辻仲病院柏の葉、京葉銀行、千葉銀行、生活協同組合パルシステム千葉、アップルジャパン株式会社、他
- 問い合わせ：ピノキオプロジェクト2009実行委員会事務局
[TEL] 090-1733-0712 [MAIL] info@gokan-gakkou.jp [WEB] http://www.kashipino.com/

ピノキオプロジェクト2009 関連イベント

《ピノキオタウンデザイン》

アーティスト/イラストレーターの高橋信雅氏と一緒に、子どもたちがデザイナーとして街中の店舗やピノキオシティの壁に落書きをして、街を彩ります。

【日程】 10月4日(日) 13:00~14:00、 10月11日(日) 13:00~14:00

【定員】 各回先着30名

【集合場所】 ららぽーと柏の葉2階「クリスタルコート」

(12:00から参加整理券配布)



2008年度の実施風景

ピノキオマルシェの仮想通貨「Pi」について

「Pi」は10月11日・12日のピノキオマルシェで使用できる子ども通貨です。ピノキオマルシェで働いた子どもたちに、給料として支給されます。約1時間の仕事で300Piが支給され、1Pi = 1円としてピノキオマルシェで使用できます。

*職業体験は1人1回まで、1回約1時間です。仕事内容は当日会場にて先着受付となります。参加人数によって、希望の仕事ができない場合もあります。



2008年度に発行した「Pi」

エドアルド・マラジジ氏 (ピノキオプロジェクト提唱者) プロフィール

1948年、イタリア・フィレンツェ生まれ。ピストイア美術大学、フィレンツェ美術大学、ボローニャ美術アカデミーを卒業。現在は、フィレンツェ美術アカデミーデザイン部の教授。モンテッソーリの教育メソッドを背景に、アーティストかつ教育者として活動する傍ら、デザイナーとしても活躍。童話『ピノキオ』のように、「子どもたちは正しい道を見つけるまでには、いくつもの間違いをすることが重要であり、試行錯誤を繰り返しながら、創造力を自由に働かせてほしい」と、ピノキオプロジェクトを提唱。



写真はすべてピノキオプロジェクト2008の開催風景

【報道関係の方のお問い合わせ先】

柏の葉アーバンデザインセンター [UDCK]

広報担当： 小林 (ma-kobayashi@udck.jp)、 蛭川 (t-hirukawa@udck.jp)

TEL : 090-3510-5586 / 04-7140-9686 FAX : 04-7140-9688

* 柏の葉アーバンデザインセンターは、東京大学、千葉大学、柏市、三井不動産、柏商工会議所、田中地区ふるさと協議会、首都圏新都市鉄道の7団体が共同運営する、公民学連携のまちづくり組織です。“環境・健康・交流・創造”をテーマとする「柏の葉国際キャンパスタウン構想」の実現に向けて、まちづくり施策の検討や実証実験、市民参加の企画/イベント、柏の葉地区に関する幅広い情報発信等を行っています。